



六甲山上の武頼庵さんの自宅

第59回テーマ： 六甲山に住もう！ 外国人の体験談

講演内容

- なぜ六甲山に住もうとしたか？
- どうやって六甲山に住まいを見つけたか？
- 六甲山住まい、地獄と天国

実施日：平成20年2月16日（土）
午後1時～3時

場 所：六甲山YMCA里見ホール



講師：武頼庵 S. 寧尊さん
プロフィール

1968年米国コロラド州出身。5歳から折紙に興味を持ち、1986年に交換留学生として初来日。コロラド大学卒業後、関西在住。1996年(有)ガイジズ設立。六甲山町民になって4年目。

積雪の中で、景観整備の調査

今年は例年には珍しい大雪の六甲山。午前中の整備活動は積雪のため、先月までに設定した植生調査の区画の標識を見つけるのに苦労しました。

参加した10人で、対象地域を歩きながら、今後の調査の構想を練りました。



階段が雪で埋まっていました

ファミリー揃っての講演

武頼庵さんは市民セミナー初の外国人の講師です。約20年前に折り紙がきっかけで日本に来られた武頼庵さんは、六甲山に住んで4年目です。セミナーでは、六甲山での暮らしの地獄と天国をご紹介いただきました。



奥さんの佳世さんと伊作君

奥さん、息子さんとご家族揃って出席されました。山上の温かな家庭生活が想像できる、終始和やかなセミナーになりました。六甲山暮らしを考えている参加者も多く、質疑応答もとても活発でした。

六甲山住まいはDIY生活

ある日目にした新聞記事から始まった六甲山暮らし。引越し当初はカビだらけ、ゴミだらけの家を片付けるだけでも1ヶ月かかったそうです。梅雨の時期は湿気に、冬は隙間風に悩まされ、台風でテラス

が飛ばされてしまったそうです。

フローリングを張ったり、暖炉の薪割りをしたりというDIY生活を楽しんだり、都会では味わえない六甲山の自然や親しい仲間との暮らしを楽しまれています。「世界に住むなら六甲山」と、流暢な日本語でお話されました。

六甲山上の生活実感に触れた

実際の生活を基にした実感のあるお話で、六甲山での暮らしの辛さや楽しさがよく伝わってきました。外国人である武頼庵さんのお話は、六甲山に対する先入観が少なく、新鮮な視点で六甲山を見直せました。

武頼庵の出身地のボルダーはロハス発祥の地としても知られます。そんな武頼庵さんから「世界の中で住むなら六甲山」と太鼓判を押していただいたのは、それだけで六甲山の魅力再発見になりました。

※詳しくは、1、2ページをお読みください。

参加の感想 櫻井 利彦さん

ブライアン家のブログにて貴会セミナーを知り、積雪を恐れながらもノーマルタイヤで登山、出席をさせて頂きました。

六甲山に住む事を考える人々にとってご一家の手探りで始められた山暮らしで味わう天国と地獄についてのお話は大変興味深く、参考になることが大いにあったと思います。数多くの問題が有っても魅力が勝る山暮らしに私自身、改めて思いを強くさせて頂いたセミナーとなりました。



主催：六甲山自然保護センターを活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

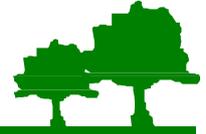
後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】

コベルコ環境保全基金、セブン-イレブンみどりの基金
ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金
しみん基金・こうべ



第59回テーマ：六甲山に住もう！外国人の体験談



第59回市民セミナーの流れ

市民セミナー

1. あいさつ：13:00～13:10
2. 講演：13:10～14:15
3. 休憩：14:15～14:25
4. 質疑応答：14:25～15:00

講演

- なぜ六甲山に住もうとしたか？
- どうやって六甲山に住まいを見つけたか？
- 六甲山住まい、地獄と天国



和服姿の武頼庵さん

講演の挨拶(武頼庵S. 寧尊さん)

■武頼庵って誰？

アメリカのコロラド州、ボルダー市出身です。ボルダーは山の麓にある、標高1560mぐらいの街。山の生活は昔から好きで、ハイキングやマウンテンバイク、ロッククライミングなどを楽しみました。



ボルダー市

5歳のときから折り紙をはじめ、折り紙がきっかけで日本に興味を持ちました。11歳からニューヨークで折り紙の先生をしました。世界折紙連盟の会員番号148番です。

日本が大好きな人なんです。日本の文化、食べ物、日本人、自然がすごく好きです。富士も登り、北海道から九州まで探検しました。我ながら日本の心を持っているかな、と思います。

講演内容

1. なぜ六甲山に住もうとしたか？

■夜景のため？

六甲のイメージはそれぞれ。「夜景のため？」と聞かれる。六甲山は函館、長崎とともに日本三大夜景に挙げられている。函館山と長崎の稲佐山は300mちょっとで、931mある六甲山の高さはダントツ。

■神戸は昔から国際的

神戸は昔から国際的。日本と海外、両方のものがある。A・H・グループは明治元年に神戸に来て、明治28年に六甲山上の三国池近くに山荘を建設した。日本最初の公式ゴルフ場、神戸ゴルフクラブはグループと友達がつくった。

明治43年の朝日新聞によると、六甲山上にはイギリス人28戸、日本人12戸、ドイツ人9戸、アメリカ人4戸など計56戸があった。こうしたことから自分は六甲山に惹かれていった。

■都会の田舎

六甲山から神戸まで電車や車で30～40分。国道2号線や六甲道までなら20分で行ける。大阪でも1時間で行ける。

六甲山には宅急便も来る。だって一応「神戸市

灘区」にあるのだから！山上にはお店やレストランがあり、小学校もある。

ケーブルでの通勤、通学ができる。ケーブルは雪が積もっても大丈夫。定期だと月7000円で安い。ケーブルに乗ると気分転換にもなる。

■そしてリゾナブル

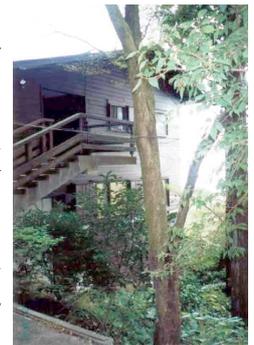
和歌山、軽井沢、富士山など国内のリゾート地と比べても安い。しかも、富士山から大阪には通えない。海外に比べても安い。香港やスイス、ロサンゼルス、オーストラリアなどの外国は何億、何十億する。一やっぱり六甲山やねん！

2. どうやって六甲山に住まいを見つけたか？

■ある日の出会い

日経新聞を読んでいて、小さな不動産の記事を見つけた。「六甲山頂、眺望良。1200万円、地代月1万円。」一すぐに電話した。それから何件も物件を見て「これだ！」と今の家に決めた。

最初は雑草でボロボロだった。自分の中でここでの暮らしをイメージして、なんとかいけるかなと思った。色々な人に相談した。建築家の友達は「40年前に建てた家で大丈夫か？」と言い、大工の友達は「潰して立て直した方がいいのでは？」と言った。私の父は自分で家のリフォームをするような人だが、「お父さんは面白いと思う。やりがいがあるんじゃないか？」と言ってくれた。そして、ローン組んで買っちゃいました。



フライアンさん宅

3. 六甲山住まい、地獄と天国

【地獄1】カビだらけの家



最初は掃除だけで丸1か月かかった。布団や浴衣、皿など荷物はそのまま残されていた。壁やカーペットは全部カビ。ベランダは腐っていて2回ほど下に落ちた。

←引越してきたばかりの家

【地獄2】風通しの良すぎる家

六甲山の別荘は、夏用で、1年中住むことは考えられていない。風がよく通り、1年目の冬はロウソクの火が隙間風で消えた。木で隙間を塞いだり、断熱材を入れたりして寒さをしのいだ。窓ガラスはどこもシングルガラスで寒い。

【地獄3】壁に水が流れる家

梅雨の時期は、紙を置いているだけでニョロニョロになってしまう。最初のうちは、トイレや風呂はドアを閉め切っていると水が壁に流れるぐらいだった。

【天国1】自然の中の暮らし

私は日本に来て足掛け20年。これまでは大阪などに住んだことがある。窓がないところにも1年間住んだ。人間らしくない暮らしだった。自然の中でふれあいが人には大事。六甲山では自然の中で暮らせるのがいい。

春は桜。夏は涼しくて緑が豊か。秋は紅葉。冬は雪。コロラドからやって来て、以前は日本の冬は寒いだけで悲しかった。

今の子供は自然との触れ合いが少ない。プレイステーションの中の自然だけで、本当の自然との接し方が分からないのは悲しい。六甲山のような場所で自然に触れ合える機会が増えるといい。

【天国2】スモールタウン・親しい仲間との生活

マンションでは隣り同士が知らないこともあるが、六甲山はそんなことはない。人との触れ合いが多い。引っ越した日、レストランで食事をしたが、引越しの支払いを済ませたばかりで持ち合わせがなかった。お店の人が「明日でいいよ」と言ってくれて感動した。

友達が「六甲山は遠いなあ」と言いながら、よく遊びに来るようになった。六甲山に住んでいるからこそだと思ふ。



温かい家庭ができた

【天国3】DIY生活「人生の2×4」

古い家なので好きなように直せる。壁にペンキを塗ったり、畳の部屋をフローリングにしたり、部屋の間の壁を壊して大きい部屋にしたりしている。自分のライフスタイルに合わせて家を変えていくのが楽しい。直すところがたくさんあるので練習がいくらでもできる。



Before



After

質疑応答

「武頼庵」の漢字はどうやって決めた？：武士の「武」、信頼の「頼」からとった。「庵」は京都で茅葺屋根の家に住んでいたの「いおり」から取った。よく暴走族や蕎麦屋に間違えられる。

まとめ(武頼庵さん)

故郷のボルダーは標高が高く、山や自然の暮らしができる。食べ物や水もおいしい。アメリカで住むならボルダーに住みたい。でも、世界で住むなら六甲山に住みたいです。「やっぱり六甲山はええんやねん！」

事務局より

武頼庵さんの出身地、ボルダーはロハスのメッカでもあるそうです。そんなブライアンさんから、ボルダーよりも六甲山の方がいいと断言されました。世界の中での六甲山魅力再発見が進んだのではないのでしょうか。「六甲山を楽しまなくちゃもったいない！」と声を大にしていきましょう。

◆参考・配布資料など

- ・スライド
- ・新聞記事 産経新聞2008年2月7日号「米国コロラド州(上)ロハス発祥の地ボルダー」、2月14日号「米国コロラド州(下)ウインターリゾート」

有限会社ガイジンズ

武頼庵S. 寧尊 ぶらいあん ねいそん
〒657-0101 神戸市灘区六甲山町西谷山 1878-48
TEL: 078-894-2068 FAX: 078-894-2067

◆参加者の声～アンケートより～

- ・六甲山に根を降ろした人の素直な思いが感じられた。
- ・ユーモアのある素晴らしいセミナーだった。
- ・外国人の目から見た新たな六甲山の魅力を発見できた。

◆参加者：30名(50音順・敬称略)

泉 美代子 岩浅 敬由 尾崎 尚子 笠原 良一
カマーゲルグリア カマー 良子 川口 歩 川口賢太郎
香西 直樹 櫻井 利彦 関本 恵一 高田 英裕
高山 歩 伊達奈保子 堂馬 英二 堂馬 佑太
永井 工 永井 演子 橋本いくゑ 長谷川友彦
藤井宏一郎 武頼庵S. 寧尊 武頼庵佳世 武頼庵伊作
マルコ ポス 村上 定広 森 康博 山下 昌人
米村 邦稔